

学校図書館だより 10月号

陽西中学校

涼しさを感じる虫の声に、色づく木々…秋の深まりを感じる頃となりました。図書館には、調べ学習に適した本もたくさんあります。学びを深める一歩を図書館から始めませんか。

地域学校園

今の特集

映像化した作品

- 森見登美彦著 『ペンギン・ハイウェイ』
- 重松清著 『ブランケット・キャッツ』
- 鈴木信行著 『宝くじで1億円当たった人の末路』

ジョン・グリーン作 『さよならを待つふたりのために』



郊外の町にペンギンたちが現れる。アニメ映画化した長編小説。

『ブランケット・キャッツ』
重松清著 朝日新聞社



馴染んだ毛布とともに2泊3日だけやってくる「ブランケット・キャッツ」の物語

『宝くじで1億円当たった人の末路』
鈴木信行著 日経BP社



宝くじがあたった人、キラキラネームの人など様々な人の末路を専門家と分析解説する。

『さよならを待つふたりのために』
ジョン・グリーン作 岩波書店



がんで酸素ボンベが手放せないハイゼルが、片足の少年と出会う。死と見つめ合いながら強く生きる若者を描く。

10/27~11/10

第72回読書週間



終戦の2年後の1947（昭和22）年、まだ戦争の傷あとが日本中のあちこちに残っているとき、「読書の力によって、平和な文化国家を創ろう」と、出版社・取次会社・書店と図書館が力をあわせ、そして新聞や放送のマスコミも一緒になり、第1回「読書週間」が開かれました。

それから70年以上が過ぎ、「読書週間」は日本中に広がり、日本は世界のなかでも特に「読書をする国民」の国となりました。

今年の「読書週間」が、みなさん一人ひとりに読書のすばらしさを知ってもらおうきっかけとなることを願っています。

新

着

図

書

あだなる書房
ジョン・ホイン著
『ソフィアと少年』



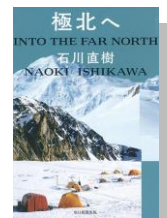
7歳の少年があこがれたのはヒトラーだった。

杉本りえ著
ポプラ社
『100年の木』



立山連峰と栗の木に見守られて続いていく、家族の100年の物語。

『極北へ』
石川直樹著
毎日新聞出版



写真家石川直樹の果敢な冒険家人生に触れる。

30日 読んだ感想を絵に描こう
読書感想画
中央コンクール

課題図書

『キツネのパックス』
サラ・ペニーバックラー作
評論社



少年とキツネの絆に涙する。感動の物語。

正義の声は消えない
ラッセル・フリードマン著
汐文社



白バラ抵抗運動の学生たちを追った実話。

おしらせ



今年度の陽西中学校の読書週間は、11月26日～12月7日に行います。読書週間のイベントで、やってほしいイベントがありましたら、ぜひクラス図書委員に教えてください。



10/27~11/10の全国読書週間中には、陽西地域学校園で行うしおりコンクールの投票を行います。ぜひ、ご参加ください。